

# コニカミノルタグループ 2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年10月30日

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 太田 義勝

- 本資料の記載情報

本資料におきましては便宜上、第2四半期累計は「上半期」と表示しております。  
また表示金額につきましては、四捨五入による億円単位となっております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき  
当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる  
場合があることをご承知おき下さい。

# 本日のご説明内容

- 08年度上半期のレビュー
- 08年度通期業績修正
- 08年度下半期の重点取組み



# 情報機器事業 収益悪化の要因



- 会計制度変更・新規連結の影響に加え、競争激化による価格下落の影響が拡大。
- 市場環境悪化の中で販売物量が伸び悩み、十分な粗利増を確保できず。
- Danka販管費やR&Dは費用増となるが、経費コントロールにより2Qの経費増加額は1Qより抑制。

## 営業利益対前年増減分析

【億円】

〈営業利益〉	1Q	2Q	上半期
08年度	171	152	323
07年度	214	233	447
<b>増減</b>	<b>△43</b>	<b>△81</b>	<b>△124</b>

### 〈増減要因〉

主な内訳

為替影響	+5	△5	△0	
会計制度変更	△7	△7	△14	棚卸資産低価法
新規連結暖簾償却など	△3	△12	△15	Danka暖簾償却など10億円
<b>事業外の増減要因</b>	<b>△5</b>	<b>△24</b>	<b>△29</b>	
価格変動	△32	△42	△74	
数量増減他	+36	+10	+46	
コストダウン(正味)	+7	+9	+16	コストアップ△12億、コストダウン+28億
経費増減影響	△49	△33	△82	新規連結 約50億円、R&D25億円増
<b>事業での増減要因</b>	<b>△38</b>	<b>△56</b>	<b>△94</b>	

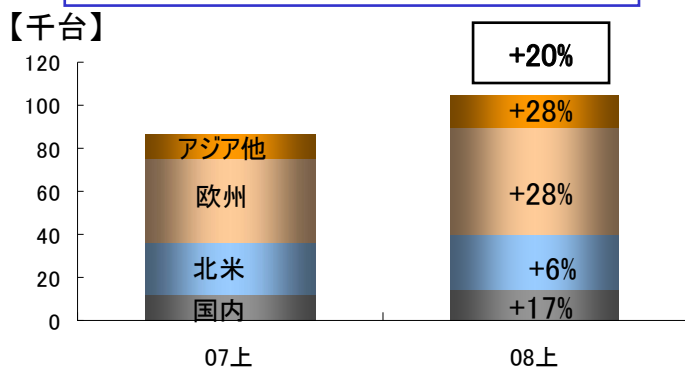
# <参考> 情報機器事業 注力分野の販売動向



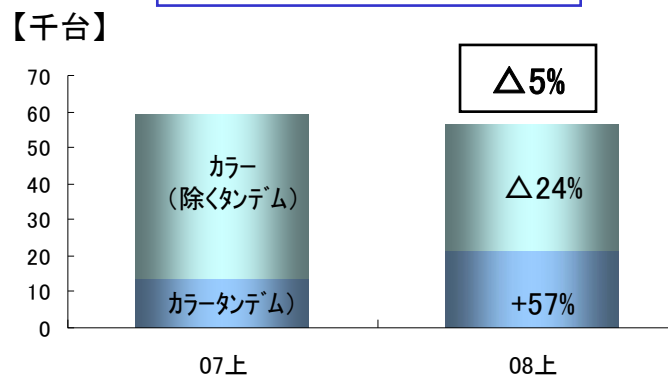
KONICA MINOLTA

「ジャンルトップ戦略」の注力分野での成長を持続しており、ノンハード売上を創出する事業構造に大きな変化はない。

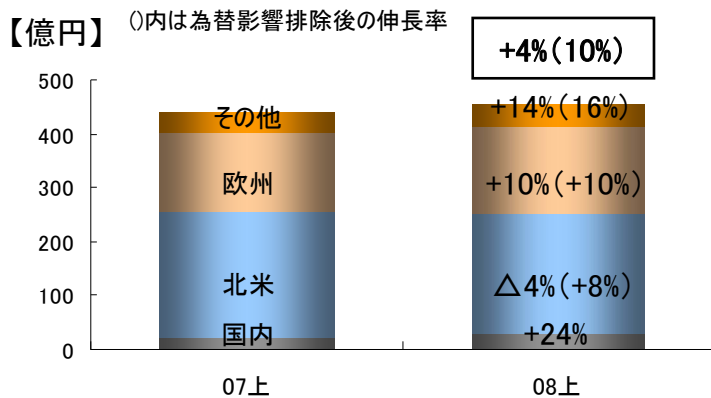
カラーMFP 地域別販売台数



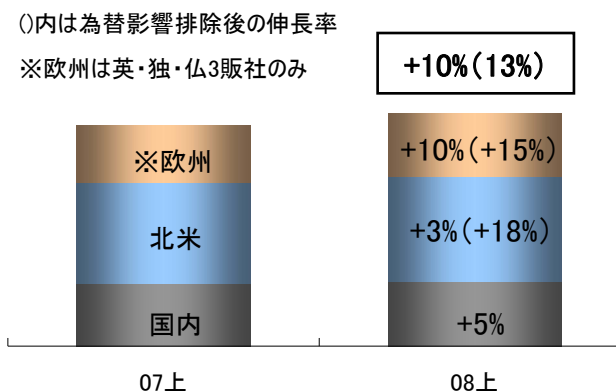
カラーLBP 販売台数



プロダクションプリント地域別売上高



MFPノンハード売上高(カラー+モノクロ)



# 08年度下半期業績見直しの前提

## 急変する市況悪化を織り込み、事業計画を見直し

### 情報機器：懸念されるリスク

- 不況業種の拡大
- 信用不安の拡大によるリース与信の厳格化、リース料率の引き上げ
- ユーロ急落による当社の欧州事業への収益影響

### オプト：懸念されるリスク

- 個人消費の冷え込みによって年末商戦以降の先行き不透明感が増大

販売数量見直し	対前年増減			＜参考＞当初見込みとの差異		
	上実績	下見通し	通期見通し	上	下	通期
＜情報機器＞						
カラーMFP	+20%	+15%	+17%	△5%	△5%	△5%
モノクロMFP	△10%	+8%	0%	△10%	0%	△5%
MFPトータル	0%	+10%	5%	△7%	△3%	△5%
＜オプト＞						
TACフィルム	+70%	+25%	+45%	+5%	△5%	0%
BD用ピックアップレンズ	+75%	+40%	+50%	△10%	△10%	△10%
ガラスHD基板	+78%	+50%	+65%	0%	△5%	△3%

# 08年度通期業績予想修正



- 売上高 : 1兆350億円 (計画比△750億円、△6.8%)
- 営業利益 : 800億円 (計画比△400億円、△33.3%)
- 当期純利益 : 420億円 (計画比△280億円、△40.0%)

- 為替前提を円高修正、\$: (旧)100円⇒(新)95円 €: (旧)155円⇒(新)120円  
 ※08年度上半期実績: 1円あたりの営業利益の為替感応度(年間ベース)\$: 1.5億円 €: 10億円
- 世界的な景気減速を踏まえて、下期販売計画を見直し
- 実効税率は41%を適用。(前年度実効税率 30%は、フォトイメージング事業終了に伴う税控除による)
- 年間配当金1株当たり20円は変更せず。

売上高	実績		予想		【億円】 前回公表 差異	営業利益	実績		予想		【億円】 前回公表 差異
	上期	下期	下期	通期			上期	下期	下期	通期	
情報機器事業	3,438	3,262	3,262	6,700	7,200 △ 500	情報機器事業	323	237	237	560	940 △ 380
オプト事業	1,094	956	956	2,050	2,100 △ 50	オプト事業	190	120	120	310	330 △ 20
メディカル& グラフィック事業	662	688	688	1,350	1,500 △ 150	メディカル& グラフィック事業	29	16	16	45	50 △ 5
その他事業	86	84	84	170	200 △ 30	その他事業	10	10	10	20	25 △ 5
HD他	49	30	30	79	100 △ 21	HD他	△ 64	△ 71	△ 71	△ 135	△ 145 10
全社	5,330	5,020	5,020	10,350	11,100 △ 750	全社	487	313	313	800	1,200 △ 400

厳しさを増す事業環境の中でも「ジャンルトップ戦略」を徹底し、注力分野での成長モメンタム・ポジショニングを堅持。

## 情報機器

- カラーMFPのジャンルトップポジションを更に強化
- 買収したDanka社(米国)、KN社(オランダ)の新チャネルを最大活用した物量増
- Océ社(オランダ)との提携を深耕し、プロダクションプリントを拡大

## オプト

- TACフィルム: 第4世代VA-TACによる競争力強化と稼働率向上による価格対応力強化
- BD用ピックアップレンズ: 絶対優位な生産力と技術力で圧倒的ポジションの堅持
- ガラス製HD基板: グローバルな業界再編の動きに対応した競争力強化





世界的な景気停滞は長期化するとの認識に立ち、  
直面する危機を次の成長機会に向けた企業改革の好機ととらえ、  
〈FORWARD 08〉で目指す企業体質強化の取組みを加速する。

- 〈FORWARD 08〉の取組み施策を見直し、実効のスピードを最優先したアクションをとる。
- 緊急的には費用・投資を削減し、収益力と財務基盤の維持・強化を図る。
- 事業の見直し、拠点の統廃合など構造的な改革に取り組む。
- 次の成長のベースとなる基盤を整備する。但し、厳しくメリハリはつける。
- 企業風土を改革する。      simply BOLD : 大胆な発想と勇気ある挑戦

# 参考情報

# 08年度上半期 連結業績



	08年度 実績	07年度 実績	対前年 増減率	08年度 計画	【億円】 達成率
売上高	5,330	5,250	2%	5,350	100%
売上総利益	2,432	2,597	-6%	-	
(売上総利益率)	45.6%	49.5%	-	-	
営業利益	487	571	-15%	565	86%
(営業利益率)	9.1%	10.9%	-	10.6%	
経常利益	479	547	-12%	550	
税前利益	499	539	-7%	570	
当期純利益	293	376	-22%	340	86%
(当期純利益率)	5.5%	7.2%	-	6.4%	
為替レート	US\$ 106.11	119.33		100.00	
	ユーロ 162.68	162.30		155.00	
EPS(円)	55.19	70.93	-22%		
ROE(年換算)	13.1%	18.8%	-		

# 08年度上半期 セグメント別売上高/営業利益



KONICA MINOLTA

売上高	08年度	07年度	対前年 増減率	08年度	【億円】
	実績	実績		計画	達成率
情報機器	3,438	3,469	-1%	3,450	100%
オプト	1,094	833	31%	1,000	109%
メディカル&グラフィック	662	806	-18%	750	88%
その他事業	86	83	4%	100	86%
事業計	5,281	5,191	2%	5,300	100%
HD他	49	58	-17%	50	98%
グループ計	5,330	5,250	2%	5,350	100%

営業利益	08年度	07年度	対前年 増減率	08年度	達成率
	実績	実績		計画	
情報機器	323	447	-28%	445	73%
オプト	190	131	45%	160	119%
メディカル&グラフィック	29	40	-29%	20	143%
その他事業	10	13	-27%	10	96%
事業計	551	631	-13%	635	87%
HD消去他	△ 64	△ 60	-	△ 70	-
グループ計	487	571	-15%	565	86%

# 08年度第2四半期 連結業績



		08年度 実績	07年度 実績	【億円】 対前年 増減率
売上高		2,778	2,726	2%
売上総利益		1,233	1,337	-8%
(売上総利益率)		44.4%	49.0%	-
営業利益		242	323	-25%
(営業利益率)		8.7%	11.9%	-
経常利益		199	270	-26%
税前利益		191	264	-28%
四半期純利益		117	215	-46%
(四半期純利益率)		4.2%	7.9%	-
為替レート	US\$	107.66	117.87	
	ユーロ	161.93	161.88	
EPS(円)		21.96	40.53	-46%
ROE(年換算)		10.4%	21.4%	-

# 08年度第2四半期 セグメント別売上高/営業利益

売上高	【億円】		
	08年度 実績	07年度 実績	対前年 増減率
情報機器	1,771	1,741	2%
オプト	584	458	27%
メディカル&グラフィック	349	449	-22%
その他事業	47	45	4%
事業計	2,751	2,693	2%
HD他	28	33	-15%
グループ計	2,778	2,726	2%

営業利益	【億円】		
	08年度 実績	07年度 実績	対前年 増減率
情報機器	152	233	-35%
オプト	101	83	21%
メディカル&グラフィック	14	27	-47%
その他事業	6	9	-27%
事業計	274	352	-22%
HD消去他	△ 32	△ 29	-
グループ計	242	323	-25%

# 08年度下半期・通期 業績予想修正



【億円】

	08年度修正予想		07年度実績		対前年増減率		08年度 前回公表		差異率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	5,020	10,350	5,466	10,716	-8%	-3%	5,750	11,100	-13%	-7%
営業利益	313	800	625	1,196	-50%	-33%	635	1,200	-51%	-33%
(営業利益率)	6.2%	7.7%	11.4%	11.2%			11.0%	10.8%		
経常利益	281	760	496	1,042	-43%	-27%	600	1,150	-53%	-34%
税前利益	221	720	451	990	-51%	-27%	580	1,150	-62%	-37%
当期純利益	127	420	312	688	-59%	-39%	360	700	-65%	-40%
(当期純利益率)	2.5%	4.1%	5.7%	6.4%			6.3%	6.3%		

為替レート	US\$	95.00	109.24	114.28	100.00
	円-口	120.00	160.76	161.53	155.00

# 08年度下半期・通期業績予想修正(セグメント別売上高/営業利益)



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	08年度修正予想		07年度実績		対前年増減率		08年度前回公表		差異率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
情報機器	3,262	6,700	3,541	7,010	-8%	-4%	3,750	7,200	-13%	-7%
オプト	956	2,050	989	1,823	-3%	12%	1,100	2,100	-13%	-2%
メディカル&グラフィック	688	1,350	805	1,611	-15%	-16%	750	1,500	-8%	-10%
その他事業	84	170	85	168	-2%	1%	100	200	-16%	-15%
事業計	4,990	10,270	5,420	10,612	-8%	-3%	5,700	11,000	-12%	-7%
HD他	30	79	46	104	-34%	-24%	50	100	-40%	-21%
グループ計	5,020	10,349	5,466	10,716	-8%	-3%	5,750	11,100	-13%	-7%

営業利益	08年度修正予想		07年度実績		対前年増減率		08年度前回公表		差異率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
情報機器	237	560	454	901	-48%	-38%	495	940	-52%	-40%
オプト	120	310	182	313	-34%	-1%	170	330	-29%	-6%
メディカル&グラフィック	16	45	38	78	-58%	-42%	30	50	-47%	-10%
その他事業	11	20	8	21	42%	-4%	15	25	-27%	-20%
事業計	384	935	681	1,312	-44%	-29%	710	1,345	-46%	-30%
HD消去他	△ 71	△ 135	△ 56	△ 116	-	-	△ 75	△ 145	-	-
グループ計	313	800	625	1,196	-50%	-33%	635	1,200	-51%	-33%



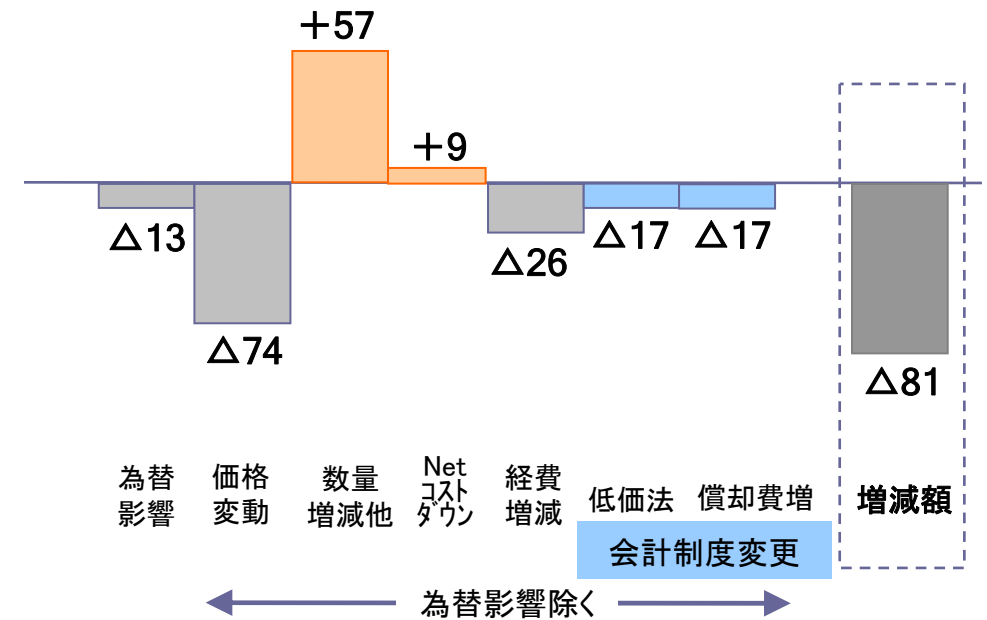
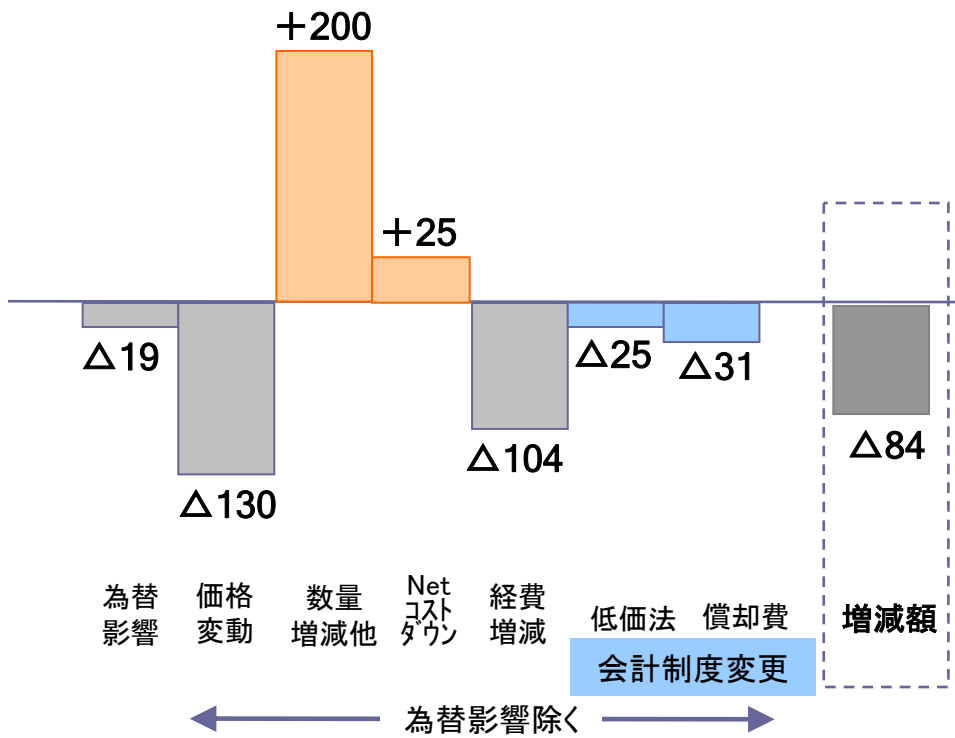
# 営業利益増減分析

上半期

2Q

【億円】

【億円】



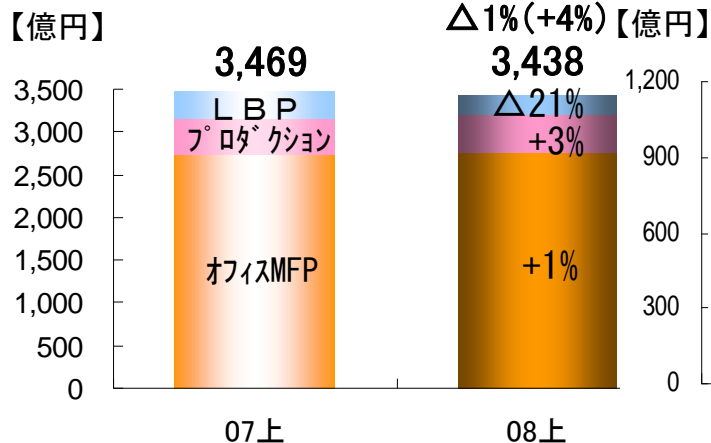
# 08年度上半期 主要3セグメント売上・数量



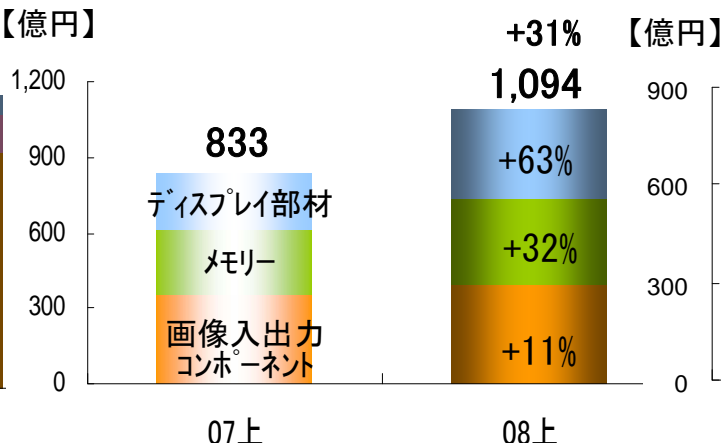
## 売上高

### ■情報機器事業

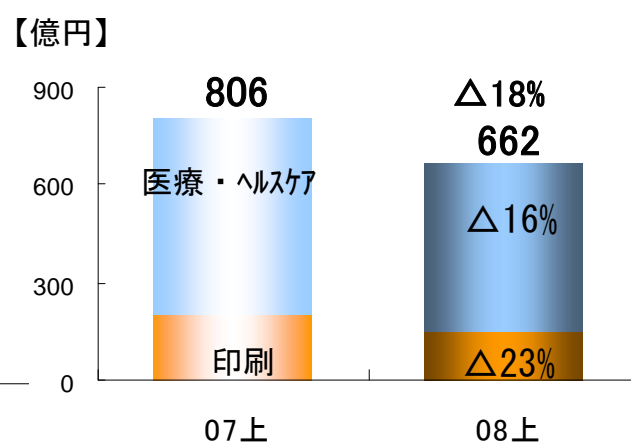
(内は為替影響排除後の伸長率)



### ■オプト事業



### ■メディカル&グラフィック事業



## 販売数量増減(対前年)

<b>MFP</b>	<b>0%</b>
カラー	+20%
モノクロ	△10%
うちプロダクションプリント	0%
<b>LBP</b>	<b>△32%</b>
カラー	△5%
うちタンデム	+57%
モノクロ	△41%

<b>ディスプレイ部材</b>	
TACフィルム	+70%
<b>メモリー</b>	
光ピックアップレンズ	0%
ガラスHD基板	+78%
<b>画像入出力コンポーネント</b>	
携帯用コンポーネント	+91%

<b>医療・ヘルスケア</b>	
X線フィルム	△12%
CR(デジタル入力機)	+16%
<b>印刷</b>	
印刷フィルム	△38%
デジタル印刷機	△18%

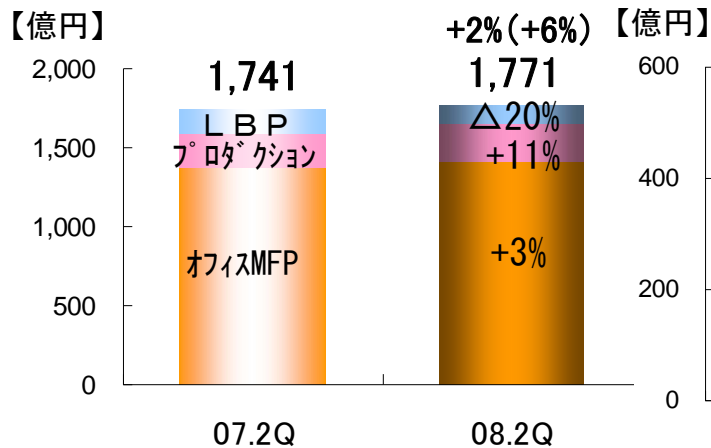
# 08年度第2四半期 主要3セグメント売上・数量計画



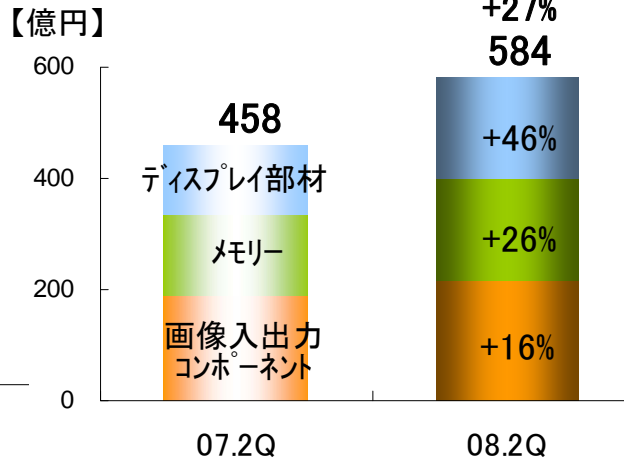
## 売上高

### ■情報機器事業

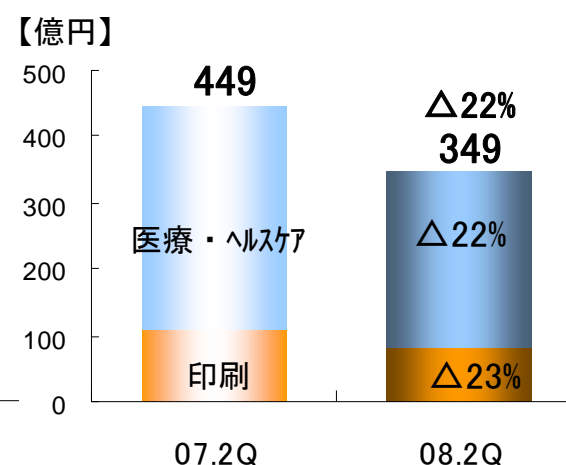
( )内は為替影響排除後の伸長率



### ■オプト事業



### ■メディカル&グラフィック事業



## 販売数量増減(対前年)

<b>MFP</b>	<b>△5%</b>
カラー	+17%
モノクロ	△14%
うちプロダクションプリント	△5%
<b>LBP</b>	<b>△25%</b>
カラー	+20%
うちタンデム	+101%
モノクロ	△35%

<b>ディスプレイ部材</b>	
TACフィルム	+58%
<b>メモリー</b>	
光ピックアップレンズ	△12%
ガラスHD基板	+61%
<b>画像入出力コンポーネント</b>	
携帯用コンポーネント	+71%

<b>医療・ヘルスケア</b>	
X線フィルム	△15%
CR(デジタル入力機)	+10%
<b>印刷</b>	
印刷フィルム	△38%
デジタル印刷機	△20%

# 08年度通期 主要3セグメント売上・数量計画

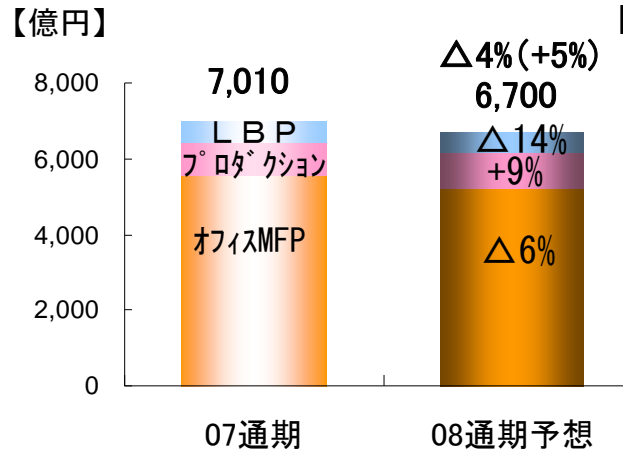


KONICA MINOLTA

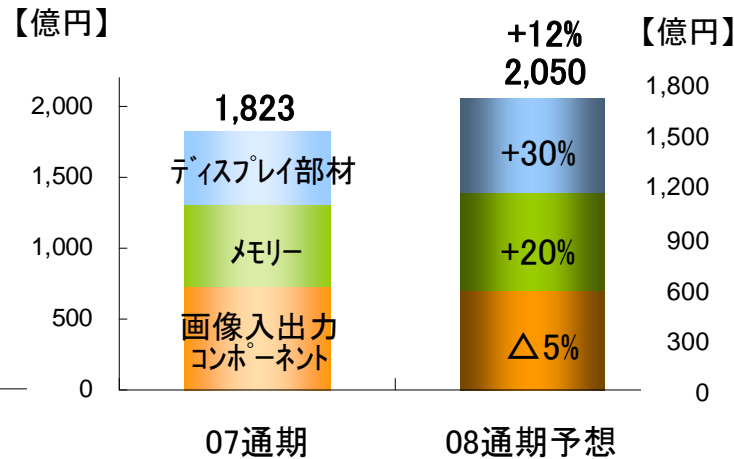
## 売上高

### ■情報機器事業

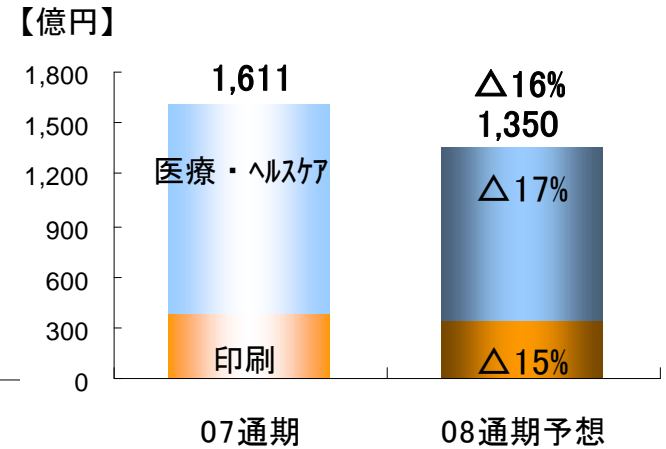
( )内は為替影響排除後の伸長率



### ■オプト事業



### ■メディカル&グラフィック事業



## 販売数量増減(対前年)

<b>MFP</b>	<b>+5%</b>
カラー	+17%
モノクロ	0%
うちプロダクションプリント	+3%
<b>LBP</b>	<b>△20%</b>
カラー	+30%
うちタンデム	+100%
モノクロ	△40%

<b>ディスプレイ部材</b>	
TACフィルム	+45%
<b>メモリー</b>	
光ピックアップレンズ	△5%
ガラスHD基板	+65%
<b>画像入出力コンポーネント</b>	
携帯用コンポーネント	+15%

<b>医療・ヘルスケア</b>	
X線フィルム	△15%
CR(デジタル入力機)	+25%
<b>印刷</b>	
印刷フィルム	△25%
デジタル印刷機	+10%

The essentials of imaging

# 販売管理費

【億円】

	08上	07上	増減
販売費	280	307	△ 27
研究開発費	419	384	35
人件費	725	803	△ 79
その他	522	532	△ 10
販売費及び一般管理費	1,946	2,026	△ 81
サービス費用売上原価計上分	155		
為替影響(△は費用減)	△ 55		
<b>実質増減</b>	<b>2,156</b>	<b>2,026</b>	<b>129</b>

# 営業外収支

【億円】

	08上	07上	増減
受取利息・配当金	15	13	2
為替差益	-	5	△ 5
その他	42	39	3
営業外収益計	57	57	0
支払利息・社債利息	29	22	6
棚卸資産評価損・処分損	-	24	△ 24
為替差損	6	-	6
その他	30	34	△ 4
営業外費用計	65	81	△ 16
営業外収支	△ 8	△ 24	16

# 特別損益



KONICA MINOLTA

【億円】

	08上	07上	増減
固定資産売却益	1	11	△ 10
関係会社株式売却益	28	0	28
事業譲渡益	31	-	31
その他	9	2	7
<b>特別利益計</b>	<b>68</b>	<b>14</b>	<b>55</b>
固定資産除却・売却損	11	10	1
固定資産減損損失	3	4	
事業構造改善費用	14	-	14
退職給付制度改定損	20	-	20
その他	0	8	△ 7
<b>特別損失計</b>	<b>48</b>	<b>22</b>	<b>27</b>
<b>特別損益</b>	<b>20</b>	<b>△ 8</b>	<b>28</b>

# 研究開発費・設備投資・減価償却費



【億円】

	08上	07上	対前年		通期		差異
			増減	増減率	今回修正	前回予想	
研究開発費	419	384	35	9%	850	900	△ 50
設備投資	313	336	△ 24	-7%	600	750	△ 150
減価償却費	339	286	54	19%	750	800	△ 50

	08.9末	08.3末	増減
連結人員	37,876	31,717	6,159

主な増減要因

Danka 約1,800人

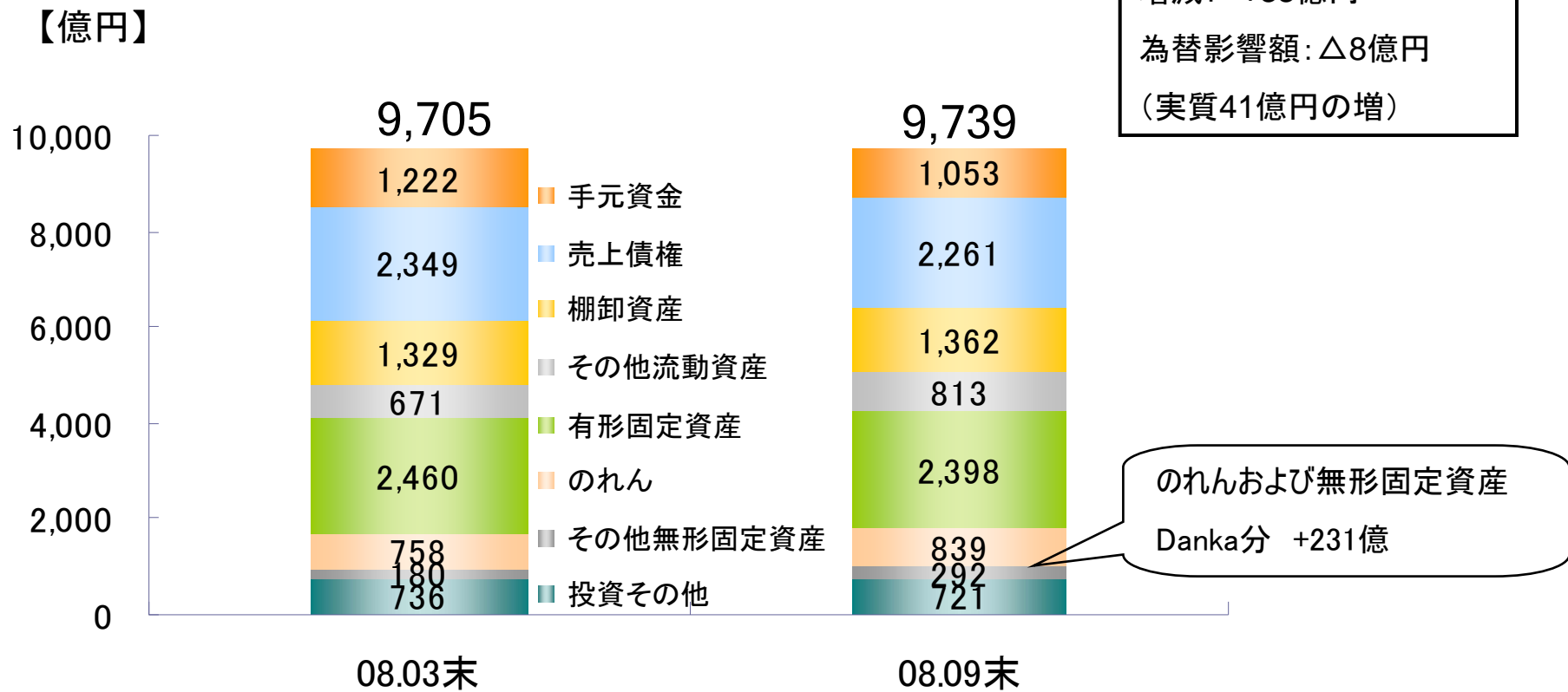
中国事務機生産工場独資化 約4,200人



# 貸借対照表(資産)

## 資産の部

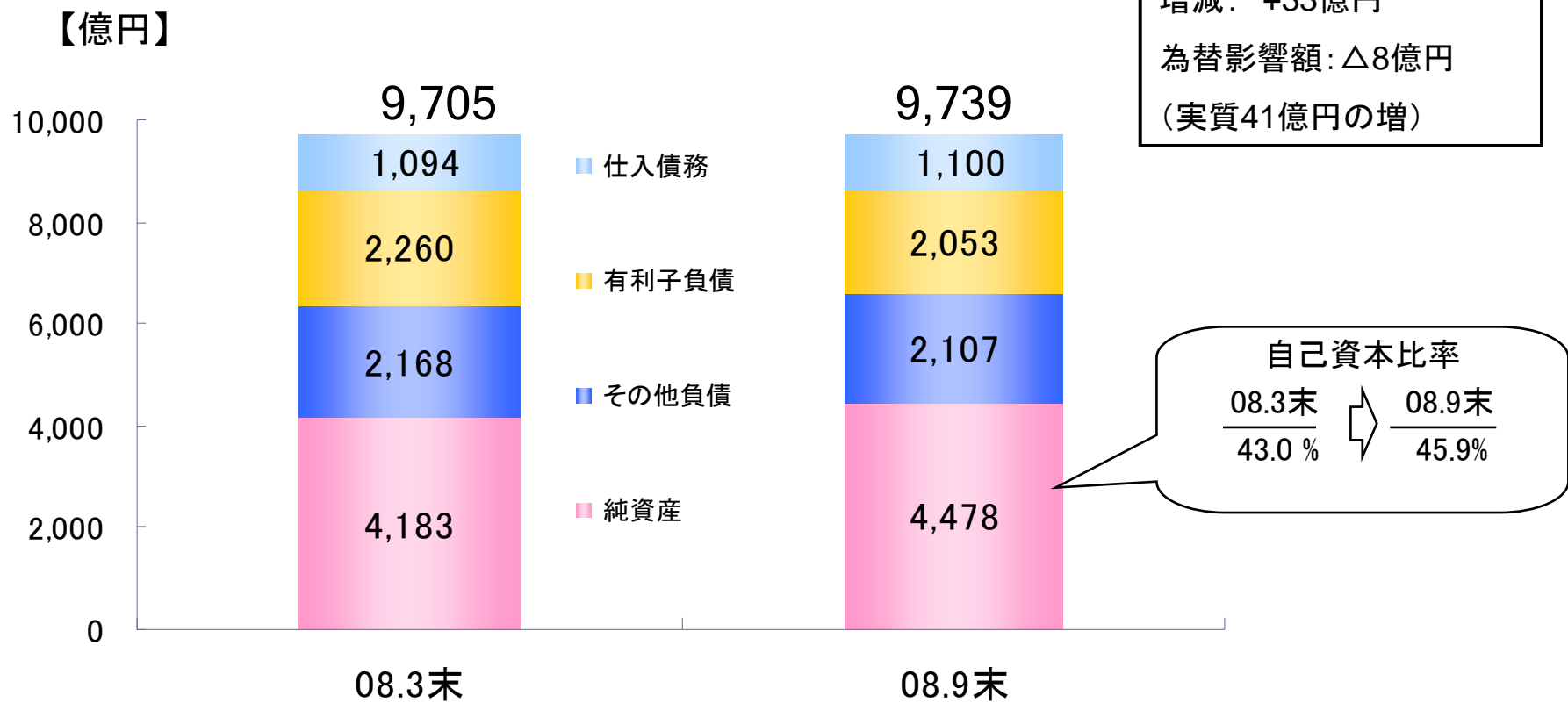
為替レート	08.3末	08.9末
US\$	100.19	103.57
ユーロ	158.19	149.05



# 貸借対照表(負債及び純資産)

## 負債・純資産の部

為替レート	08.3末	08.9末
US \$	100.19	103.57
ユーロ	158.19	149.05

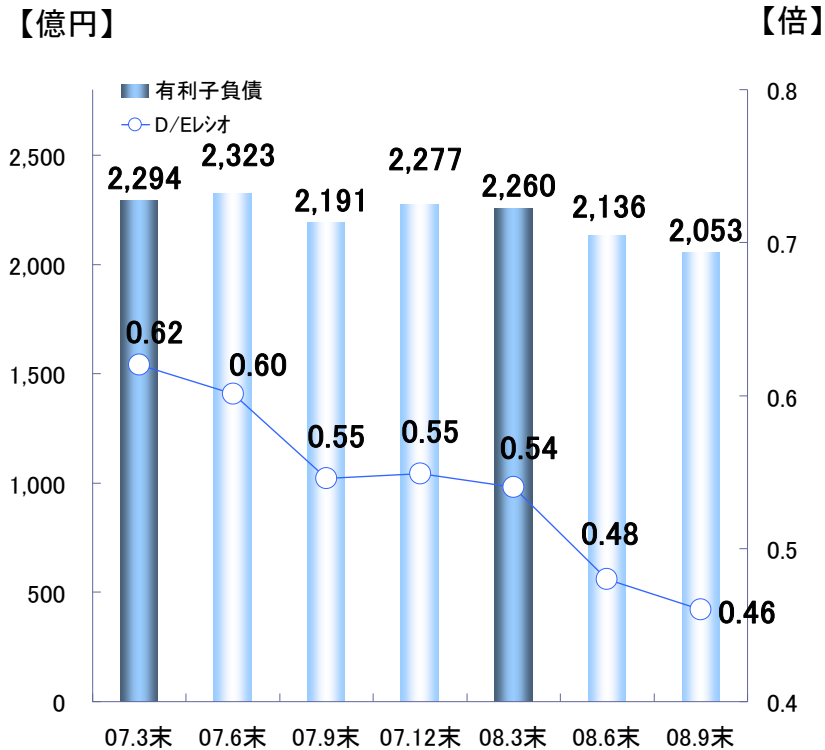


# 08年9月末 有利子負債及び棚卸資産の推移



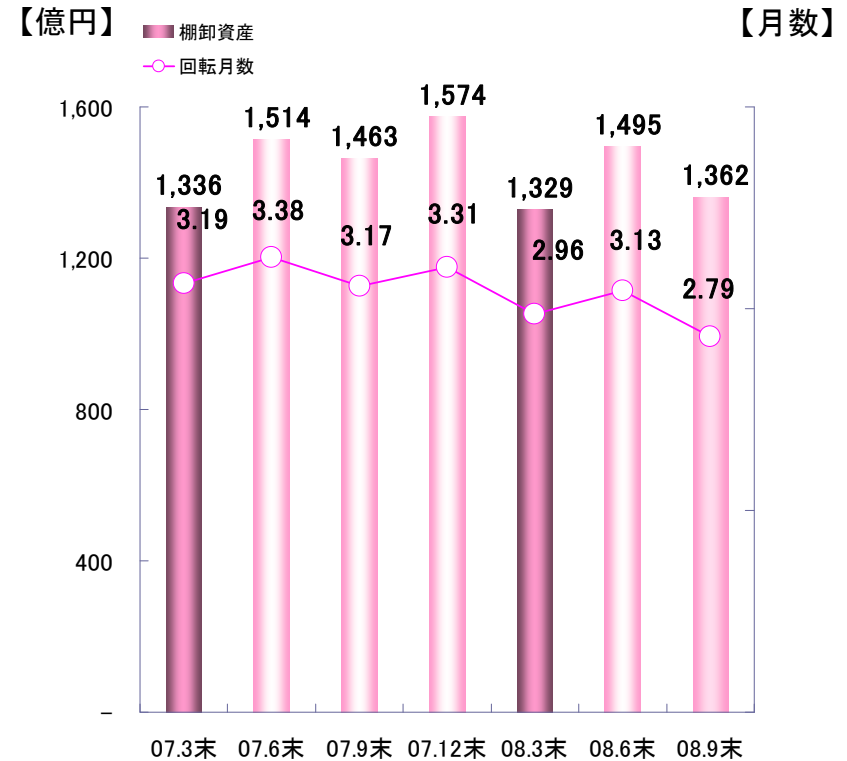
KONICA MINOLTA

## 有利子負債残高及びD/Eレシオの推移



D/Eレシオ:  
 $\text{期末有利子負債} \div (\text{期末株主資本} + \text{評価} \cdot \text{換算差額等})$

## 棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



棚卸資産回転月数:  
 $\text{期首} \cdot \text{期末棚卸資産平均} \div (\text{1ヶ月平均売上原価})$

# キャッシュ・フロー



KONICA MINOLTA

【億円】

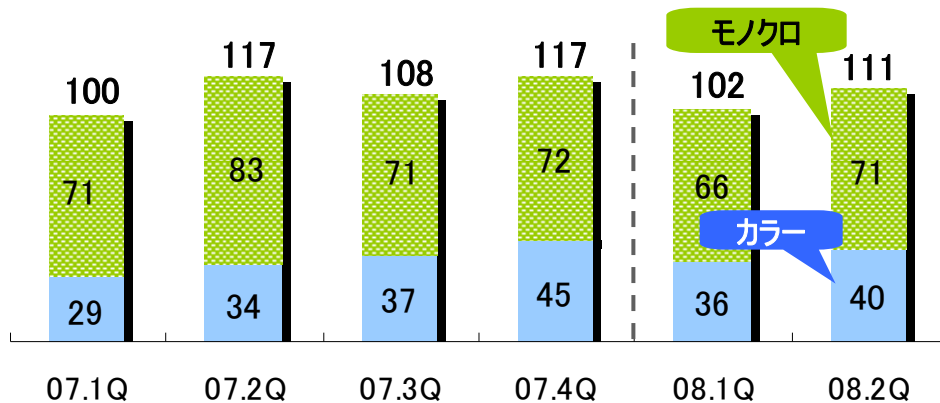
	08上	07上	増減
税金等調整前純利益	499	539	△ 40
減価償却費	339	286	54
のれん償却額	41	34	7
事業譲渡及び株式売却益	△ 31	-	△ 31
フォトイメージング事業終了引当金増減	△ 22	△ 104	82
運転資本増減	78	△ 11	89
その他	△ 65	△ 60	△ 5
法人税等支払額	△ 199	△ 180	△ 20
<b>I) 営業活動によるCF</b>	<b>640</b>	<b>503</b>	<b>137</b>
<b>II) 投資活動によるCF</b>	<b>△ 532</b>	<b>△ 316</b>	<b>△ 216</b>
<b>I + II) FCF</b>	<b>108</b>	<b>187</b>	<b>△ 79</b>
有利子負債の増減	△ 195	△ 111	△ 85
配当金の支払額	△ 40	△ 53	13
その他	△ 20	△ 2	△ 18
<b>III) 財務活動によるCF</b>	<b>△ 255</b>	<b>△ 166</b>	<b>△ 90</b>

# ＜情報機器事業＞主要製品販売数量トレンド

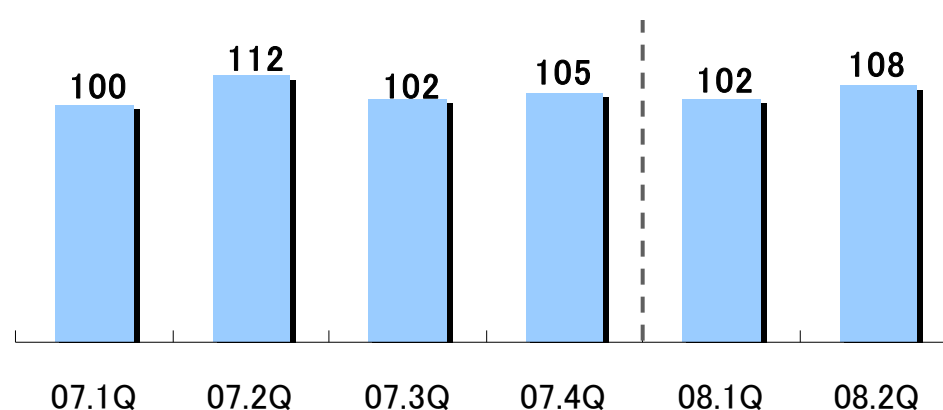


◆07年度1Q実績を100とした場合の指数

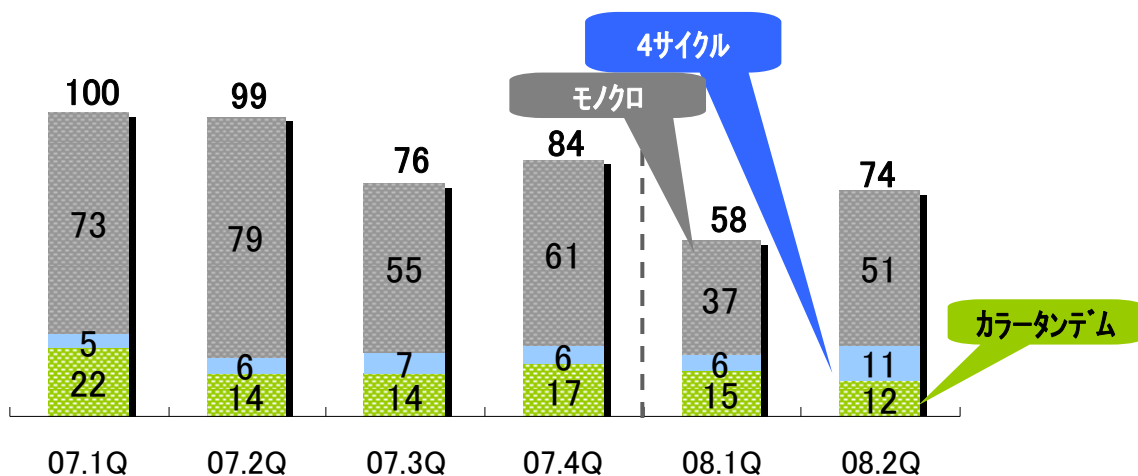
MFP(カラー/モノクロ)



プロダクションプリント(カラー+モノクロ)



LBP

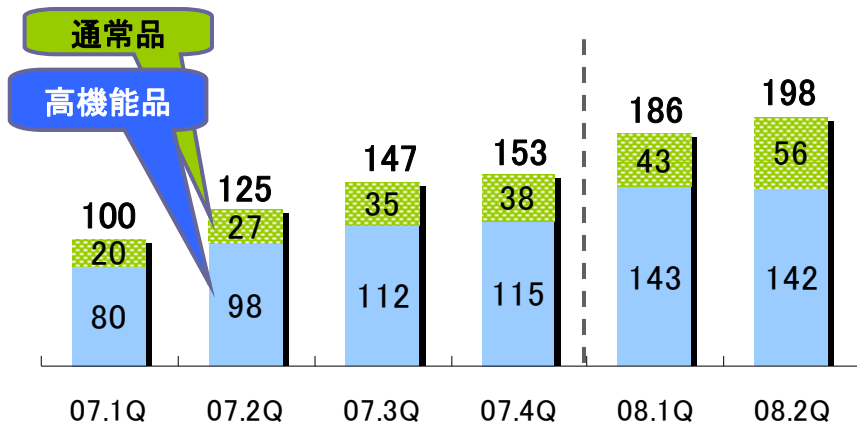


The essentials of imaging

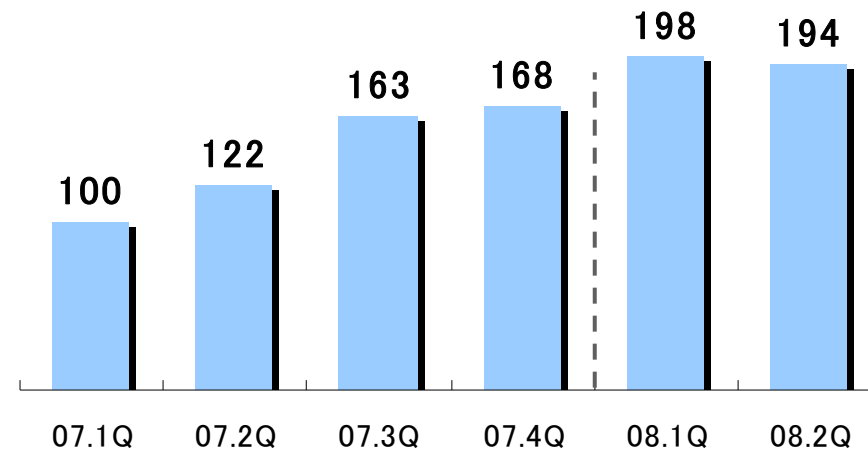
# 〈オプト事業〉主要製品販売数量トレンド

◆07年度1Q実績を100とした場合の指数

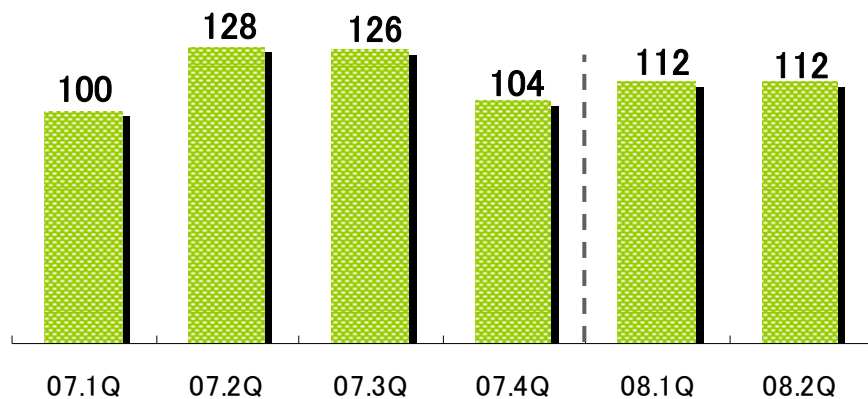
## TACフィルム



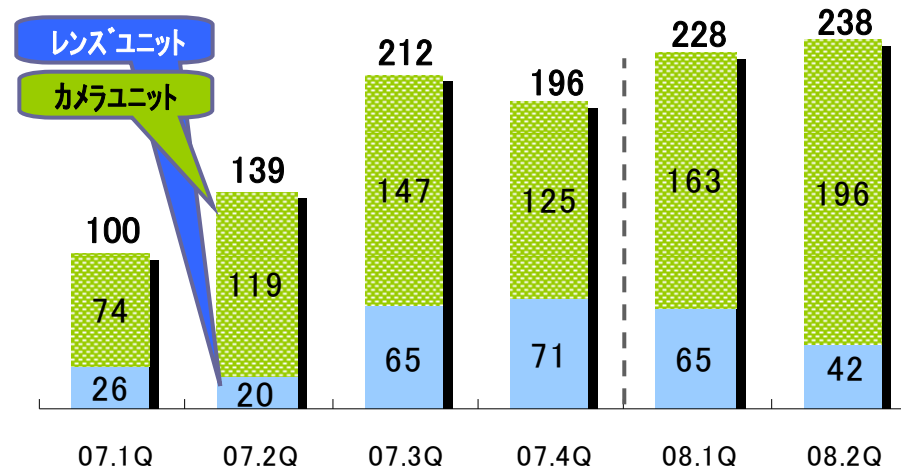
## ガラスHD基板



## 光ピックアップレンズ



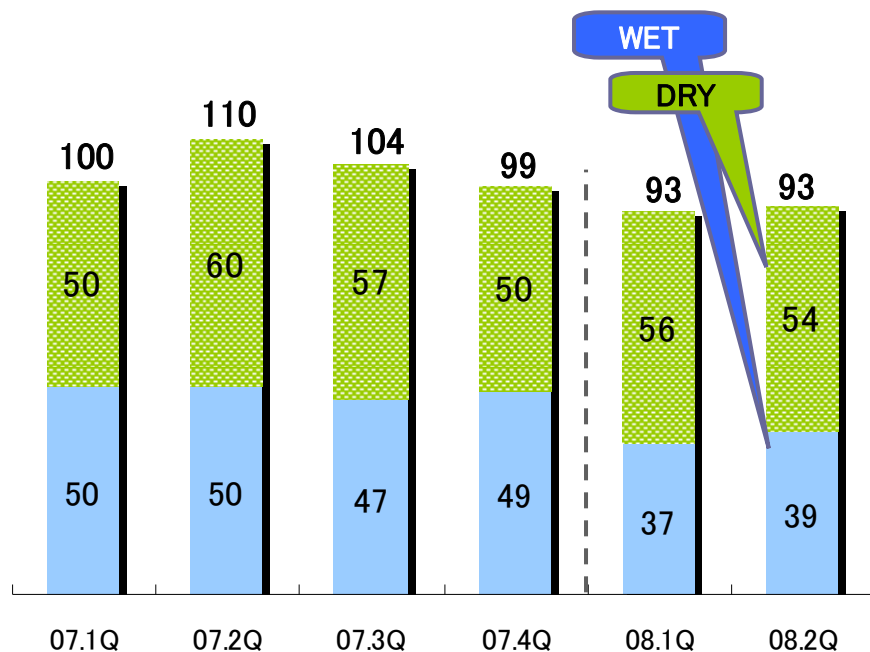
## 携帯用コンポーネント



# <医療&グラフィック事業>主要製品販売数量トレンド

◆07年度1Q実績を100とした場合の指数

X線用フィルム(DRY/WET)



CR(デジタル画像入力機)

